

令和7年度

学校評価報告書



綾瀬市立綾南小学校

1 学校は、「よく学ぶ子（実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」）」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、今年度も「自分の思いや考えをもてる子」を目指して校内研究に取り組みました。発問の工夫を行うことで、児童一人ひとりが「考えることの楽しさ」、「考えたことをもとに友達と交流する楽しさ」を感じ、主体的に学習に取り組むことができる授業を目指しています。また、各学年で朝のモジュールの時間を活用し、基礎基本の学習を繰り返し行い、学力向上に向けて取り組んでいます。

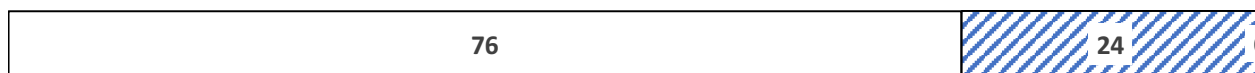
児童 設問 「進んで学習に取り組んだ。」



保護者 設問 「お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。」



教職員 設問 「学校は、「よく学ぶ子（実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」）」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。」



今後に向けて

児童の約9割が肯定的に回答しています。また、教職員はすべてが肯定的に回答しています。一方で、保護者の肯定的な回答は約7割となっており、児童や教職員の回答とずれが大きくなっています。このことから児童の進んで学習に取り組む姿勢は、学校内にとどまっていることが分かります。児童一人ひとりの「進んで学習に取り組む姿勢」が実生活にもつながるよう引き続き授業改善を行っていきます。

2 児童は、学校行事やクラブ活動、委員会活動、係活動に積極的に参加している。

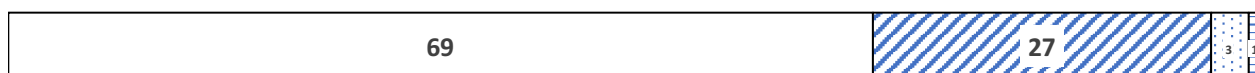
学校の取組

本校では、運動会やクラブ活動、委員会活動、学級の係活動では、児童の話し合い活動を重視したり、児童が自ら役割分担したりすることで、主体的に行動できるよう支援したりして活性化を図っています。異学年交流活動の「にこにこタイム」では、どの学年の児童も楽しく交流できるよう、教職員の支援の下に高学年が中心となって運営しています。

児童 設問 「運動会、遠足、にこにこタイムなどの活動に進んで取り組んだ。」



保護者 設問 「お子さんは、運動会、遠足、にこにこタイムなどの活動に楽しく参加している。」



今後に向けて

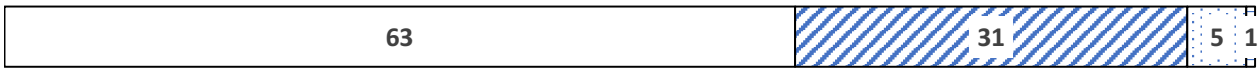
各活動に進んで取り組んだり、楽しく参加したりしたことがうかがえる結果となりました。運動会や音楽朝会の前には、各行事のめあてを達成するために自分がどのように取り組んでいくかを書かせ、行事終了後には振り返りを書かせるようにしました。個々がどれだけめあてを意識して取り組めるかが、行事全体の質の向上や個々の成長につながるのので、引き続きその視点を大事にして指導していきます。

3 学校は、「よく考える子（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」）」を育てる指導を積極的に行っている。

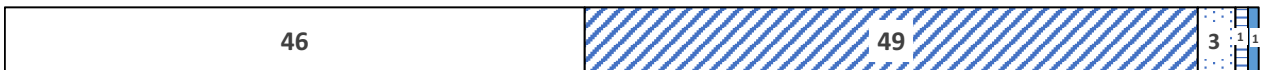
学校の取組

本校では、教科指導、道徳指導、読書指導など教育活動全般を通して自ら考える力をつけるとともに、良好な人間関係の構築を目指して取り組んでいます。また、異学年交流活動「にここタイム」や学校行事、特別活動を通して、児童一人ひとりが互いに認め合う温かい学校づくりを目指しています。

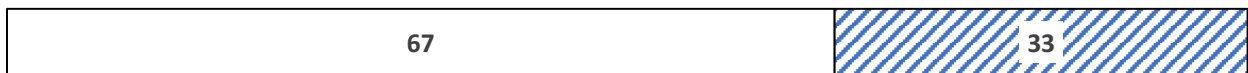
児童 設問 「あいさつをよくし、友だちと仲良く協力できた。」



保護者 設問 「お子さんは、あいさつをよくし、友だちと仲良くしている。」



教職員 設問 「学校は、「よく考える子（未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」）」を育てる指導を積極的に行っている。」



今後に向けて

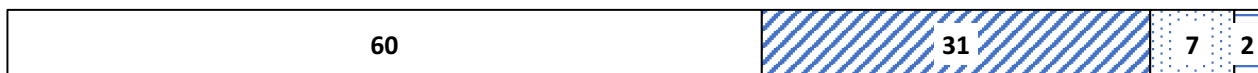
各教科の中で自分の考えをもつ活動を重視しているのはもちろんのこと、授業以外の学校生活の中でも、自分で考えて判断することが多く求められます。児童の中には、自ら考える前に、教職員に判断を委ねる行動も見られました。まずは自分で考えて判断させ、その判断で失敗しても失敗した後どうするかをさらに考えさせ、自ら考え行動できるよう、教職員が児童に寄り添いながら指導していきます。

4 児童は、友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、人とのかかわりを大切にし、互いを認め、高め合う人間関係を築き、一人ひとりが大切にされ、認められる学校づくりや学ぶ楽しさを感じられる学級づくりに努めてきました。異学年交流活動を通して、児童同士の良好な関係をさらに形成できるようにするとともに、普段の学習の中では、課題に対する自分の考えをもたせる工夫をしながら、進んで学べるよう指導にあたっています。

児童 設問 「学校生活は楽しい。」



今後に向けて

学校生活が楽しく送れていると思えることは大事なことでと思っています。楽しいの中身は、学習の充実や友達との関係、教職員との関係などがあると思いますが、どの点においても個々の感じている「楽しい」の質が上がるよう、日々の授業や人間関係を充実させるための取組を行っています。また、教職員は常に児童の視点に立って指導を行い、児童からの信頼を得られるように努力を重ねていきます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

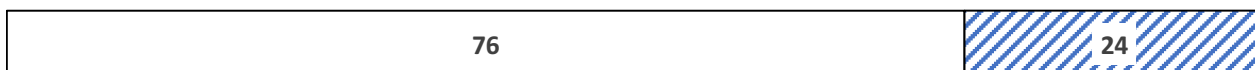
学校の取組

本校では、児童の悩みや不安を早期発見、早期対応するために、毎月スクールアンケートを実施しており、その結果をもとに支援や指導にあたっています。また、学期の終わりにスクリーニングシートの記入を行い、学校全体で児童の支援体制を考えました。職員会議や児童指導・支援会議では、配慮の必要な児童の情報共有を図り、望ましい生活習慣や行動規範についての共通理解に努めています。

保護者 設問 「学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。」



教職員 設問 「学校は、いじめの早期発見・再発防止に努めている。」



今後に向けて

教職員と保護者の意識に差が出ています。毎月のスクールアンケートを実施し、アンケートの回答から必要に応じて、児童に話を聞いたり、問題の解決に向けて教職員が児童と一緒に考えていることを保護者に知ってもらう必要があると思います。また、いじめのない学校にするために、どんな取組ができるのかを児童会活動とも連動しながら考えていきます。

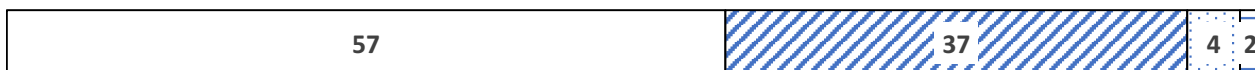
6 学校は、「高めあう子（学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等）」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

本校では、児童同士の関わりの場を多く設定しました。休み時間の外遊びだけでなく、異学年交流活動や委員会活動による各種イベントの実施等、異学年との交流を図りながら遊ぶ活動を実施し、思いやりをもち、人と関わる機会を設定しました。

学習においては、校内研究を中心に児童が主体的に取り組めるような授業を展開できるよう、職員間で教材研究しながら授業を組み立てられるよう努めています。

児童 設問 「健康や安全に気をつけて、楽しく学習できた。」



保護者 設問 「お子さんは、健康や安全に気をつけて、学習や生活ができています。」



教職員 設問 「学校は、「高めあう子（学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等）」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。」



今後に向けて

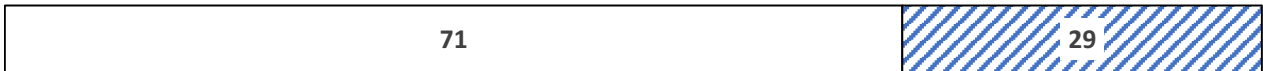
約9割の児童が、健康や安全に気をつけて、楽しく学習ができていると回答していることから、授業時間等は意識を高くもち学習に向かうことができていると思われます。しかし、校地内での過ごし方を見ていると、危険につながる行動も見られることから、今後も職員間で共通理解を図り、児童がより安全に過ごせるような声かけを行っていきます。

7 学校は、児童の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

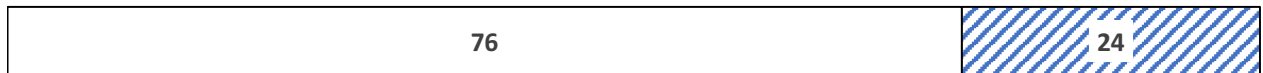
学校の取組

本校では、児童が安全に学校生活を送れるように、毎月施設や設備の安全点検、整備を行っています。異常を発見した際には、教育委員会や校務作業員と連携しながら、安全に学校生活を送れるように対応しています。また、PTAや地域の方々の見守りパトロールなど、地域と連携した児童の安全確保にも努めています。さらに、今年度の教職員向け研修では、実際の事例をもとに不審者対応訓練を行い、非常時の対応方法を確認しました。

教職員 設問 「学校は、児童の安全のための指導を行っている。」



教職員 設問 「学校は、児童の安全のために施設の点検・整備に取り組んでいる。」



今後に向けて

次年度も、児童が安全に学校生活を送れるように、毎月施設や設備の安全点検、整備を丁寧に行っていきます。また、いつ災害が起こるか分からない現在の状況に対応できるような職員研修の充実を目指します。児童が避難訓練等に真剣に取り組んでいる様子も見られるため、今後も自分の安全を守るための行動ができるように避難訓練の充実を図っていきます。

8 学校は、児童に応じた支援の工夫をしている。

学校の取組

本校では、児童一人ひとりの実態に応じた支援を行うため、教育相談コーディネーターを中心にチームによる支援体制を整えています。また、学習支援者やスクールカウンセラー、サポートルームアシスタントを配置し、カウンセリングや個別指導・支援、チームティーチング等に取り組みました。日頃から学校全体で児童の情報を共有し、全職員で目を配り、ニーズに応じた支援を行うことができるように努めています。

教職員 設問 「学校は、一人ひとりの児童に応じた、きめ細かな指導を工夫しながら行っている。」



今後に向けて

教職員、保護者、児童本人のニーズに応じてケース会議を開催したり、面談を行ったりしながら、チームによる組織的な対応を行ってきました。今後も、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、外部機関との連携を図り、全職員で児童情報を共有しながら適切な支援を行うことができるように努めていきます。

9 学校は、校長を中心とした運営組織となっている。

学校の取組

本校では、総括教諭を中心とした4グループに分かれ、縦と横の連携を図りながら学校運営上の様々な業務や課題に取り組んでいます。グランドデザインをもとに、年度初めに各グループで学校教育目標を具現化するための取組を話し合い、活動計画として戦略マップにまとめました。また、職員会議、各委員会、PTA、学校運営協議会などがそれぞれ独立するのではなく、連携をとりながら学校運営を進めていくことを目指しています。

教職員 設問 「学校は、校長を中心とした運営組織となっている。」



今後に向けて

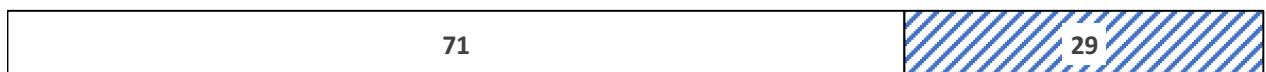
グランドデザインを念頭に置いて学校運営を進めることが概ねできました。今後も校長を中心とした運営組織の中、PDCAサイクルを実践して、よりよい学校づくりに努めていきます。また学校・保護者・地域の連携がより有意義なものになるよう、その連携の仕組みやそれぞれの活動内容について見直していきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

本校では、日頃から学年で教材研究を行い、職員同士協力して授業力向上に努めています。校内研究の公開授業に向けて、学年やブロックで話し合いや事前授業を行い、教職員全体で研究協議を行っています。視点を定めて授業について意見交換したり、講師の講義を聞いたりすることで、授業力向上に取り組んでいます。また、近年の教育課題についてお互いの強みを生かした職員研修や教育技術に関する経験を共有する場を設定するなど、教職員としての知識、見識を高め、指導力の向上に日々努めています。

教職員 設問 「学校は、教職員の力量を高めるために校内研究の取組に力を入れている。」



教職員 設問 「学校は、教職員の力量を高めるために研修に取り組んでいる。」



今後に向けて

教職員の力量を高めるための研修に取り組んでいるかどうかについては、全教職員が肯定的な回答をしているものの、ややそう思うとの回答の比率が高くなっています。今後も校内研究を通して、教師間の指導力向上、共通理解を図るとともに、教育に関する最新の動向や教職員のニーズをもとに、児童の指導に反映されるよう研究・研修計画を立案していきます。

1 1 学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長のための工夫をしている。

学校の取組

本校では、毎月の職員会議や年間6回実施している児童指導・支援会議で、児童の情報交換の場を設けています。担任、級外、養護教諭等それぞれの立場から児童の様子についてきめ細かく情報を報告し、共通理解を図って児童の見守り、指導を行う体制づくりに努めています。また、スクールカウンセラーとの面談や特別支援学校の巡回相談などを利用し、より効果的な支援を行えるように努めています。

保護者 設問 「学校は、一人ひとりの良さを大切にした指導を行っている。」



教職員 設問 「学校は、児童の実態を把握し、よりよい児童の成長に向けて工夫した指導を行っている。」



今後に向けて

児童の情報共有を綿密に行うことで、一人ひとりの様子を把握することはできていますが、その先の効果的な指導の仕方については、教職員でもっと練り上げる必要があると思います。目指す児童像を明確にして、そのために取り組むべきことは何かを考えながら、児童の成長につながる適切な指導をしていきます。また、教職員がどんな視点で児童を見ていて、それにどんな価値づけをしているのかを保護者にもっと伝えていくようにしていきます。

1 2 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

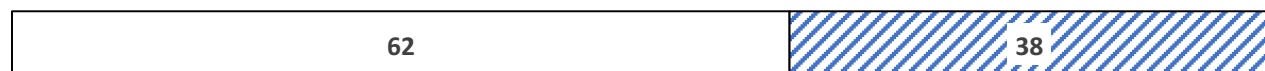
学校の取組

本校では、保護者に向けて、お便り、授業参観・懇談会、個別面談、PTAの各種会議等により、学校の教育活動や児童の様子を具体的に伝え、理解が得られるようにしています。学校だよりに行事予定と時程を全学年分一括して載せることと、各学年の活動の様子を載せることを行っています。各学校行事をはじめ、「学校へ行こう週間」「土曜授業参観」「親子ふれあい美化作業」を通して、学校へ足を運んでいただく機会を増やしています。

保護者 設問 「学校の様子を、授業参観や学校・学年・学級だより等で知ることができている。」




教職員 設問 「学校は、学校・学年・学級だよりなどで保護者に情報を提供し、連携を図る取組を行っている。」



今後に向けて

次年度も授業参観・懇談会、個別面談、「学校へ行こう週間」、土曜授業参観を行うとともに、学校だよりへの学習活動の掲載などを通して、保護者や地域に向けて情報を発信していきます。また地域学校協働活動を核とした地域や保護者との連携体制を整え、より有意義な関わりができるようにしていきます。

※グラフ凡例は、以下の通りです。合わせてご覧ください。

	そう思う
	ややそう思う
	あまりそう思わない
	そう思わない
	分からない

※アンケート実施期間

11月17日～12月24日